

7月上旬に開花するリンドウ「福島交18号」の育成

福島県農業総合センター 作物園芸部品種開発科

部門名 花きーリンドウー品種、育種・選抜

担当者 野田正浩、大河内栄、福田秀之

I 新技術の解説

1 要旨

東京盆需要期の6月下旬～7月上旬に出荷できる極早生品種の育成が求められているため、極早生で青紫系のリンドウ新品種「福島交18号」を育成した。育成経過や主な特性について以下のとおりである。

- (1) 母株、父株ともに早生系エゾリンドウを自殖した選抜個体である。それらを交配し「福島交18号」を育成した。
- (2) 郡山市(農業総合センター)において7月第1半旬に開花盛期となる極早生品種である。(表1)
- (3) 花色は鮮青紫色である。(表2)
- (4) 開花順序は下位節からで、頂花咲きはやや遅く、下～中段は開花後に頂花が色づくため花穂全体の咲き揃いは良い(表2)。
- (5) 定植3年目株の草丈は80～90cm程度出荷規格に合い、茎数は1株で8～15本と多収である(表2)。

2 期待される効果

- (1) 開花期が早く、県内平坦部においては7月上旬が収穫期となるため、東京盆需要期に向けた出荷が期待できる。山間地域においてもトンネル被覆等の栽培技術により確実に東京盆需要期を狙うことが可能となる。
- (2) 既存の極早生品種と比較して、生育旺盛であり耐暑性に優れているため、株落ちしにくく県内平坦部においても栽培し易い。また、ハウス利用による促成栽培も期待できる。

3 適用範囲

県内全域

4 普及上の留意点

- (1) 高冷地や融雪の遅い地域では露地での開花期は7月中旬頃になる。
- (2) 初期生育を確保するため、定植年のGA処理の実施が有効である。
- (3) 病害虫抵抗性は特に付与していないので、既存の品種と同様の病害虫防除が必要である。

Ⅱ 具体的データ等

表1 リンドウ「福島交18号」の栽培地における開花期

試験名	年	場所	標高(m)	開花期
組合せ能力検定	2008	郡山市高倉	200	7月1半旬
生産力検定	2010	田村市早稲川	600	7月5半旬
地域適応性検定	2011	二本松市田沢	500	7月3半旬
		北塩原村北山	200	7月3半旬

表2 リンドウ「福島交18号」の主要特性(2011年7月調査・定植3年目株)

	二本松市田沢(標高約500m)			北塩原村北山(標高約200m)		
	福島交18号	尾瀬の夢*	ながの極早生	福島交18号	尾瀬の夢*	ながの極早生
開花期(月/半旬)	7/3	7/4	7/4	7/3	7/4	7/4
花色	鮮青紫	濃青紫	濃青紫	鮮青紫	濃青紫	濃青紫
頂花咲き	やや不良	やや不良	良好	やや不良	やや不良	良好
開花順序	下	下	中	下	下	中
花段数	5.4	6.4	5.2	5.4	5.5	5.1
草丈(cm)	89.4	96.3	102.9	89.5	88.7	98.2
茎着色	無	無～少	無	無	無～少	無
側枝数	無～少	無	少	小	無	少
茎数(本)	15.2	15.8	11.6	8.2	5.3	5.8
葉型	披針	披針・楕円	披針	披針	披針	披針
葉長(cm)	8.2	9.0	11.0	8.0	8.9	9.9
葉色	中濃緑	濃緑	中濃緑	中濃緑	濃緑	中濃緑

*極早生系統の「尾瀬の夢」



写真1 リンドウ「福島交18号」の切り花



写真2 リンドウ「福島交18号」の頂花の様子



写真3 リンドウ「福島交18号」と対照品種の花色の比較

Ⅲ その他

1 執筆者

福田 秀之

2 研究課題名

リンドウ新品種の育成

3 主な参考文献・資料

(1) 平成23年度福島県農業総合センター試験成績概要